



ことばの教室のみなさんへ

保護者の皆様へ

子供たちはお家で何をして過ごしていますか？勉強や遊び、お手伝いなど、きっと各ご家庭で工夫して過ごされていることと思います。今回は、インターネットの情報の中から、いくつかサイトをご紹介します。気に入ったサイトがあればお家で過ごす際にご活用ください。

まずは、「小学館」や「学研」など出版社がこの時期限定でワークブックなどの情報を無料公開しています。ここでは「小学館」を紹介しますが他にも多くの情報が公開されています。

○「小学館の自宅学習支援サイト うちスタ／小学館」

お家での学習期間が続く小学生に向けて、現在発売中のドリルを中心に一部の情報が無料公開されています。4月末から始まったサービスで、全国で休校が続く間は継続して公開しています。会員登録をしなくても利用できます。

ドリルだけでなく、保護者の皆様にもお読みいただける本もいくつか公開されています。

保護者の皆様にもお読みいただける本の一つとして、「きほんの遊び142 監修／中川信子」が公開されています。この本は、0歳から3歳のお子さんとの遊びを中心に、小学校に入るまでの子供の関わりについてまとめた本です。赤ちゃんや子供たちとの具体的な遊びの例を紹介しています。紹介している遊びは、その時期にしか合わないというものではないので、お子さんが喜ぶ遊びが見付かったら、年齢などの区分に関係なく、繰り返し楽しんでください。「ビーズ通し」「しりとり」「形集め・色集め」「カードで遊ぼう」「お手玉・おはじき」「足すもう」「風船バレーボール」「工作遊び」「あやとり・折り紙」など身近な遊びについて、遊び方の解説だけでなく、その遊びを通して赤ちゃんや子供にどのような力が育っていくのかも書かれています(例:「ビーズ通し」は両手の協応動作が進み、鉛筆や箸の持ち方の基本になる。「形集め・色集め」は形や色の同じものを集める遊びで、色や形の認知力、大きさや長さなどを見比べる判断力を高めつつ、身のまわりのものに気付き視野を広げる。「カードで遊ぼう」は指先の器用さやマークなどを記憶する力を育てつつ、ルールを理解することで社会性につながる。)詳しくはお読みください。特別なことをする必要はありません。親子で一緒に楽しい時間を過ごしてください。

次は、この時期だけではなく、日頃から利用できるサイトです。

○「すき！がみつかる『放課後たのしーと』」

朝日新聞と東京学芸大学、東京学芸大こども未来研究所の3者が共同研究の成果を基にして「あそびは最高の学び」をコンセプトに作られたものです。「言葉あそび」「数・図形あそび」「体あそび」など様々な内容があります。会員登録はありますが、無料で使うことができます。

対象年齢や対象学年の記載があっても、年齢や学年に関わらずお子さんが興味をもてるもの、親子で楽しめるものを選んで取り組むとよいです。